



世界銀行「都市の土地管理に関する都市開発実務者向け対話型研修
(テクニカル・ディープ・ダイブ：TDD)」の実施について

世界銀行東京開発ラーニングセンター(TDLC)は、2024年10月7日から11日まで、計10か国・地域の代表団を迎え、「都市の土地管理に関するテクニカル・ディープ・ダイブ(TDD)」を東京と広島で開催します。

効率的な土地管理は、都市開発や持続可能な都市づくりの基盤であり、不動産登記や地籍図などのシステムが不可欠です。先進国では3D土地システムの導入が進む一方、発展途上国では旧式のシステムが課題となっています。これらのシステムの近代化は、土地利用計画、公有地の収益化、気候対策を支える基盤として、世界中の都市で急務とされています。本TDDでは、日本の土地登記簿制度や土地区画整理事業、公有地の活用といった日本及び世界の土地管理に関する経験と教訓を紹介します。特に広島は戦後、壊滅的な被害からの復興を遂げ、現在では持続可能な都市づくりや土地管理の模範となっています。本研修では、特に広島市の戦後の土地管理や「広島平和記念都市建設法」に基づく復興事例を通じ、土地利用や都市再建の経験を学び、参加国が直面する課題への解決策を探ります。

【日程】2024年10月7日-11日（於広島10月9日-11日）

【参加国および地域】ナイジェリア、エチオピア、マダガスカル、インドネシア、トルコ、ボリビア、ヨルダン、パキスタン、カンボジア、ヒンドークシュ地域を含む世界銀行クライアント10か国・地域。

【参加人数】：都市開発プロジェクトに携わる代表団と世界銀行スタッフの計約60名。

【広島研修日程】

10月9日(水)

午前：土地・都市システムの統合・デジタル化に関するセッション、広島市の都市計画事例紹介。

午後：段原土地区画整理事業に関するワークショップおよび段原地区の視察。

10月10日(木)

午前：デジタル統合土地行政に関するセッション、海外の事例紹介。

午後：基町再開発に関するセッションおよびサッカースタジアムや河川敷を含めた基町地区の視察。

10月11日(金)

午前：行動計画発表。

午後：平和記念公園の訪問。

【メディア対応】研修のワークショップや視察について、取材やインタビューの機会を設けています。詳細は下記のお問合せまでご連絡ください。

【お問合せ】世界銀行東京開発ラーニングセンター(TDLC) 田中

mtanaka1@worldbank.org 080-6154-8618